



Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press - release

①7月23日

ITU標準、救急救命従事者が負傷者の近親者へ通知するのを支援

ITU standard assists rescue workers to notify victim's next of kin

緊急時に使用するグローバル携帯電話帳コード

Global mobile phone directory code for use in emergencies

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2008/21.html)

負傷者の近親者へ緊急に通知する必要がある救急救命従事者にとって、ITUによる新しい標準のお陰で、緊急に通知する世界的に知られた方法が現在ある。

アラビア数字の01、02、03を冠した「01father」「02wife」や「03husband」等の携帯電話帳に載っている何らかの連絡先が、世界中のどこにいても優先順位付けしてあるそれらの人たちに救急救命従事者が連絡するのを助ける。

ITUは、今後、携帯電話帳による緊急連絡先を特定する

新しい方法を非営利組織のICE4SAFETYと一緒に開発する。

“In Case of Emergency” (ICE) は、英語圏の国々で市民が“ICE father”や“ICE doctor”の形で彼らの携帯電話帳に緊急連絡先として登録するように奨励した結果出現した。しかし、ICEが何を意味するか容易に識別できずローマ字を使わない人々にこの表記は意味がない。ITUのメンバーたちは、言語や表記に関係なく緊急連絡先をはっきりしておく必要性を強調している。

この新しい標準は、ITU-T E.123 Amendment1 (05/2008) (11 Emergency contact number notation) で、ICEの概念を世界に広め携帯電話帳の緊急連絡先を意味するアラビア数字 (0~9) の使用を勧告している。これは、書き物による表記は世界中で違うが、言語・表記の違いにかかわらず、これらの数字は世界的に認知され誰もが利用できるという事実を利用している。

ICE4SAFETY については<http://www.ice4safety.com/>を参照してほしい。